

二〇一〇年度鷗友学園女子中学校入学試験【国語三次】解答例と配点

㊦ (小計 50点)

問一 (4点) うらみっこくというはら

問二 (18点) これまではいちばんの兄分としてあつかわれていたが、入れ札にもれて忠次のお供に選ばれないことで、年下の

浅太郎や喜蔵たちのほうが年上の自分よりも人望があるということがはっきりと分かってしまうということ。

問三 (8点)

- (ア) 入れ札の紙が残っていると、忠次がつかまる手がかりになる心配があるから。
(イ) 自分で自分の名前を書いたいやしさにたえられず、その証を消しさりたいから。

問四 (12点)

自分は九郎助に投票したと言っている弥助のうそをとがめるためには、九郎助の名前を書いたのは、本当は九郎助自身なのだという自分のはじをさらさなければならぬということ。

㊦ (小計 40点)

問一 (6点) 沖縄の人々は、熱が出たときに解熱剤として鮎汁を食べるなど、ふだんから食べ物をも命の薬だと考えている。

問二 (18点) 昔は芋を主食としていて豚の脂は貴重なエネルギー源であったが、現代ではバターやサラダ油を日常的にとつて

いるので、豚肉を毎日食べると脂をとりすぎるようになってしまうから。

問三 (16点) 日本全国でも小さいときから日常的にファストフードを食べるようになり、その結果高血圧や糖尿病の割合が増

え、日本人の平均寿命にえいきょうするだろうと予見している。

㊦ (小計 10点)

- (2点×5) (1) 広義 (2) 徒勞 (3) 断腸 (4) 局地 (5) 愛唱歌

